

一筆啓上

作左通信



第二十四号 平成十七年四月二十六日（火）発行

愛・地球博で、「家康行列」

空が澄み渡り、春風がさわやかな四月二十四日（日）、愛知県長久手会場で開かれている「愛・地球博」で、「家康行列」が行われました。この日は、ちょうど、愛・地球博が始まって一ヶ月。始まった当初は入場者数が予想よりも少なく心配されましたが、日に日に増え、この日は、ついに入場者が十万人を超えました。

「愛・地球博」のテーマ

加型の一つです。

は、「自然の叡智」。環境万博と呼ばれる愛・地球博は、自然を生かしたつくりになっています。また、地球大交流というように、世界中の国々や団体さらには市民の幅広い参加と交流を実現しています。そして、二十一世紀の国際博覧会の先駆けとなる「参加」と「体験」の参加型博覧会を目指しています。「家康行列」は、その市民参加型の一つです。

午後三時半、愛・地球広場を出発。永田正男さん扮する徳川家康を先頭に、槍隊とともに木で作られているグロ―バルループ上をグル―バルコモン3まで整然と歩きました。沿道には、その武者姿を見るために、多くの人が集まりました。特に、外国人人は、とてもめずらしいようで、カメラやビデオで家康行列の様子を撮影していました。家康行列は、快晴の空にとっても映えていました。

この「愛・地球博」は、三十五年前に開催された「大阪万博」とは違い、多くの市民参加が計画されています。さまざまな地域を理解したり交流したりするのにとてもよい機会だと思います。なか他地域の活動の様子

を見ることがありません。この万博を通して、愛知県や他の地域、そして、世界の国々を理解できます。この「家康行列」は、多くの人に岡崎市のことを理解してもらってもよい機会だったように思います。「人生一度は万博だ」とコマ―シャルをしますが、一度は、「愛・地球博」に行ってみるのもいいですね。



―「愛・地球博」での「家康行列」の様子―